

参加無料

廃止措置工事に係る元請会社との情報交換会 参加企業募集

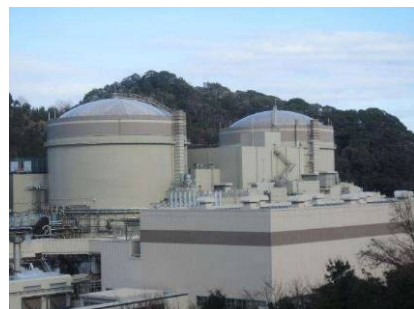
(関西電力(株)大飯発電所1・2号機 令和4年度上期開始予定分)

(公財)若狭湾エネルギー研究センターでは、原子力発電所の
廃止措置工事への県内企業の参入を応援しています。

この度、関西電力株式会社大飯発電所1・2号機(以下、「大飯1・2
号機」という。)の廃止措置工事を対象として、工事全般を請負われる
「元請会社」と、廃止措置工事に関心があり工事への参加を希望され
る「県内企業」の間における、「情報交換会」を開催します。

この会では、工事を担当される「元請会社」のご担当者様から、
対象工事の具体的な作業内容や必要な技術要件等について全体的な説明を受けたのち、
参加された「県内の企業」のご担当者様と「元請会社」の担当者様が個人に面談し、双方の情
報を持ち寄り、意見交換をしていただきます。(※[お願い]をご参照ください。)

次項の【対象工事の概要】等をご覧のうえ、ご応募ください。多数のご参加をお待ちしており
ます。



(ご注意 : この情報交換会への参加と工事受注とは、直接の関係はありません。)

【日 時】 令和4年2月3日(木) 9:00～(開始時刻は予定)

●申込期間 : 令和3年12月22日(水)～令和4年1月19日(水) 17:00まで

●申込方法 : 参加申込書に必要事項を記入し、電子メールでお申込み下さい。

【対 象】 廃止措置工事に関心があり、工事への参加を目指す福井県内の企業

【場 所】 おおい町総合市民センター(福井県大飯郡おおい町本郷第136号1番地1)

【対象工事】 ・原子炉容器外の放射能調査(放射化汚染調査)

・原子炉容器外の放射能調査(二次的汚染調査)

・・・詳細は裏面の【対象工事の概要】等をご覧下さい。

【お願い】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者のマスク着用、検温、
手指のアルコール消毒、厚労省アプリ「COCOA」の導入へのご協力のほか、
元請会社様の映像による時間帯別全体説明、グループ別の個別面談会(アクリル
板を設置)実施など、ご参加の皆様には各種対策へのご協力をお願いします。

主催：(公財) 若狭湾エネルギー研究センター

後援：福井県、おおい町商工会、敦賀商工会議所大型プロジェクト関連企業協議会 (廃炉ビジネス推
進委員会)、嶺南地域振興推進協議会商工部会、わかさ東商工会、小浜商工会議所、
高浜町商工会、(一社)福井県商工会議所連合会、福井県商工会連合会

申込み・問合わせ先
公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター
産業育成部 金松、一宮、樹下
TEL: 0770-24-7276
E-mail: sangyo@werc.or.jp

【対象工事の概要】

1. 「原子炉容器外の放射能調査(放射化汚染調査)」

- (1) 原子炉容器外の所定の場所からコンクリート試料(床・壁)及び金属試料(機器/配管保温外装板、グレーチング等)を採取する。
- (2) 採取した試料を梱包し、発電所構外の分析機関に輸送する。

詳細は添付資料①－1参照

2. 「原子炉容器外の放射能調査(二次的汚染調査)」

原子炉容器外の所定の系統毎に機器・配管の表面線量率の測定を行う。
詳細は添付資料①－2参照

【開催当日日程】

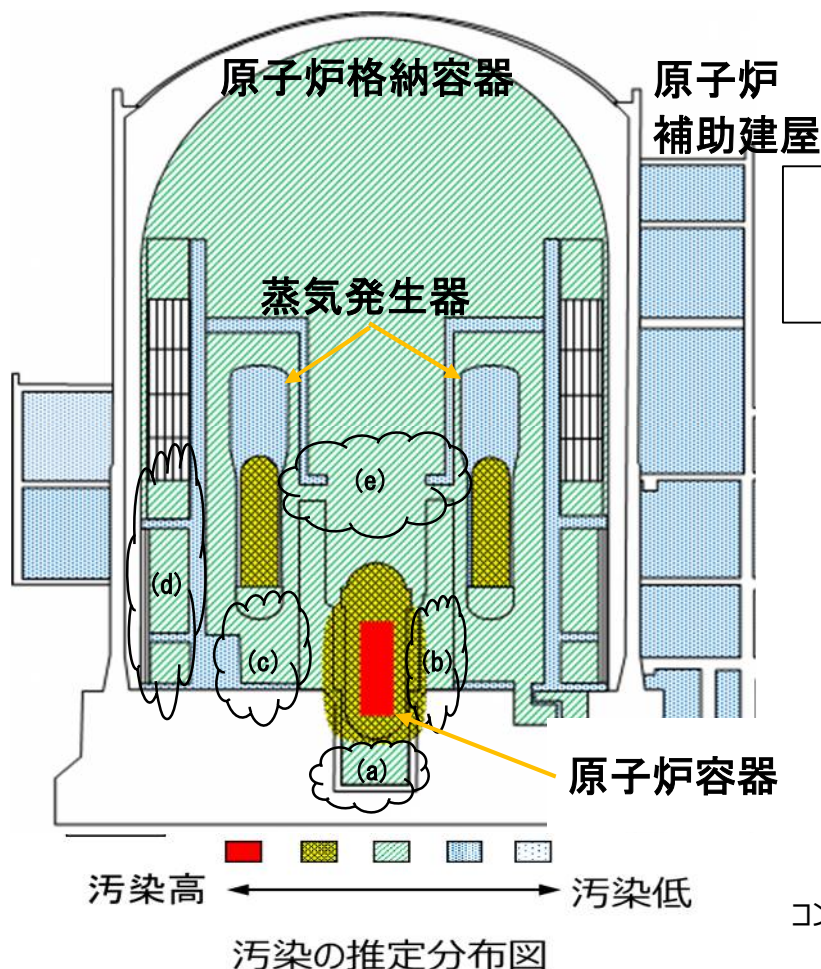
- 1. 全体説明会(約30分)・・・グループ別に時間帯を区切り、複数回行います。
 - (1) 主催者挨拶
 - (2) 事業者挨拶と廃止措置計画説明
 - (3) 元請会社挨拶と工事概要説明
- 2. 個別面談会(約30分)・・・全体説明後に、ご希望の会社のみ実施します。

【参加申し込み】

- ①社名、②職名、③氏名、④電話番号、⑤メールアドレス等、必要事項を記載し、お申込み下さい。(メールの標題には「**R4－2大飯**」と記載してお送り下さい。)

原子炉容器外の放射能調査(放射化汚染調査)の概要

原子炉容器外の放射能調査（放射化汚染調査）は、放射線管理が必要な管理区域内での作業となる。

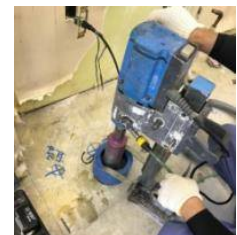


【試料採取対象材質】

- ・ 金属
- ・ コンクリート



金属試料採取イメージ



コンクリート試料採取イメージ

(目的)

廃止措置における、作業員の被ばく低減や解体廃棄物の合理的な処理方法等を定めるためには、施設内の放射能汚染分布の把握が必要であり、原子炉容器外の所定の場所からコンクリート試料（床・壁）及び金属試料（機器/配管保温外装板、グレーチング等）を採取し輸送する。

【試料採取予定箇所（汚染の推定分布図の ☁部）】

- (a) 炉内計測装置配管室
- (b) 一次遮へい壁
- (c) ループ室[※]
- (d) オペレーションフロア以下一般通路、アイスコンデンサ室
- (e) オペレーションフロア、キャビティ

※：ループ室とは、原子炉容器を中心として、蒸気発生器・1次系冷却材ポンプ・加圧器・1次冷却材配管などが設置されている周辺の部屋

(工事予定時期)

2022～2023年度（予定）

(原子炉容器外の放射能調査(放射化汚染調査)作業の作業項目)

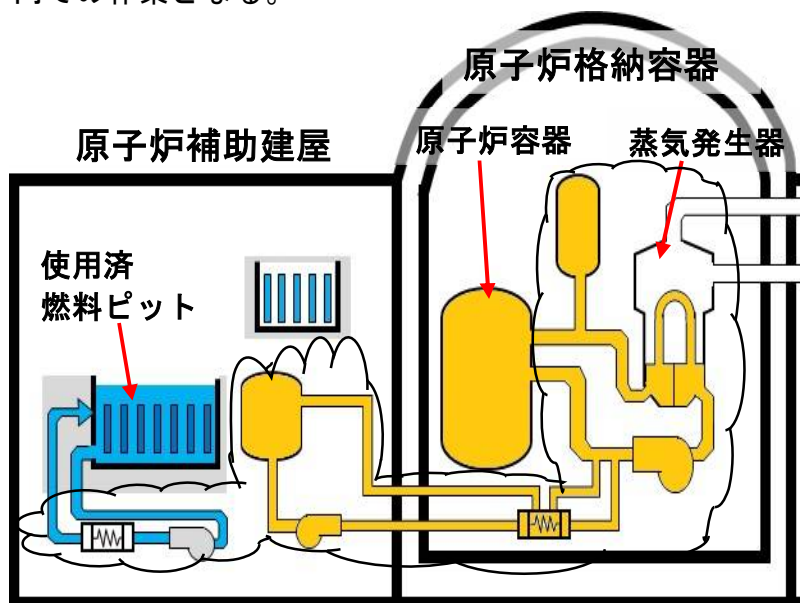
	項目	作業内容 (1・2号機それぞれ)	技術的 ニーズ
A1	コンクリート 試料採取	(1) 炉内計測装置配管室、一次遮へい壁、ループ室の試料採取 ・ 炉内計測装置配管室内への出入り及び高線量エリアのため被ばく低減対策、汚染飛散防止対策、現場養生、鉄筋探査、ロングビット ECT を実施し、コアボーリングによるコンクリートの試料採取 計 1 箇所、2 試料(必要採取量:200g 以上/試料) ・ 1 次遮へい壁周辺/ループ室内の被ばく低減対策、汚染飛散防止対策、現場養生、鉄筋探査、ロングビット ECT を実施し、コアボーリングによるコンクリートの試料採取 計 8 箇所、20 試料(必要採取量:200g 以上/試料)	①～⑤ ⑦⑧
		(2) オペレーションフロア以下一般通路、アイスコンデンサ室、オペレーションフロア、キャビティの試料採取 ・ 各エリアの被ばく低減・汚染飛散防止対策(必要時)、現場養生 ・ 鉄筋探査の実施 ・ コアボーリングによるコンクリートの試料採取 計 13 箇所、13 試料(必要採取量:200g 以上/試料)	③～⑤ ⑦⑧
A2	金属試料採取	(1) 炉内計測装置配管室、一次遮へい壁、ループ室の試料採取 ・ 炉内計測装置配管室内への出入り及び高線量エリアのため被ばく低減対策、汚染飛散防止対策、現場養生、グラインダー等による金属の試料採取 計 3 箇所、3 試料(必要採取量:100g 以上/試料) ・ 1 次遮へい壁周辺/ループ室内の被ばく低減対策、汚染飛散防止対策、現場養生、グラインダー等による金属の試料採取 計 7 箇所、7 試料(必要採取量:100g 以上/試料)	①～④ ⑥～⑧
		(2) オペレーションフロア以下一般通路、アイスコンデンサ室、オペレーションフロア、キャビティの試料採取 ・ 各エリアの被ばく低減・汚染飛散防止対策(必要時)、現場養生 ・ グラインダー等による金属の試料採取 計 13 箇所、13 試料(必要採取量:100g 以上/試料)	②～④ ⑥～⑧
A3	試料梱包	識別された試料(コンクリート、金属)を定めた要領で容器へ詰込み、運搬車両(トラック等)への積載 ・ 準備、片付け(必要機材等) ・ 輸送容器の受取、放射線管理区域内搬入(補助建屋シャッター) ・ 採取試料受取、輸送容器へ詰込み、持出サーベイ助勢	⑨
	試料輸送	運搬車両(トラック等)による陸送 ・ 放射線管理区域内から搬出⇒大飯発電所構内待機場所 ・ 大飯発電所構内待機場所⇒ニュークリア・デベロップメント(株)(茨城県)構内まで輸送及び受渡 ・ 輸送容器(空)の回送	⑩

<技術的ニーズ>

- ① 高放射線環境下でのチェーンブロック、アイボルト等を使用したコンクリートプラグの開閉作業が滞りなく出来る技能を有していること。
- ② コンクリートプラグ等に必要となるシール、パッキン類の手配が出来ること。
- ③ 被ばく管理に伴う鉛遮へい等(必要時及び作業に適したグリーンハウス、汚染飛散防止エリア)の設定が出来る技能を有していること。(クレーン運転士、玉掛け、足場の組立て等作業主任者)
- ④ 放射線に関する基礎的な知識を有し放射線測定器を使用出来る技能を有していること。
- ⑤ 鉄筋探査機及び湿式コアボーリング機を使用出来る技能を有していること。
- ⑥ 回転工具(電気グラインダー等)を使用出来る技能を有していること。
- ⑦ 作業に適した足場の架設解体が出来る技能を有していること。(足場の組立て等作業主任者)
- ⑧ 建設業法(機械器具設置工事業)を取得しており、建設業主任技術者を配置出来ること。
- ⑨ 試料の梱包作業に必要な技術系資格(小型移動式クレーン運転、玉掛け)を有していること。
- ⑩ 試料の輸送作業に伴う放射性物質(RI)等の輸送に係る規制に関する知識を有していること。

原子炉容器外の放射能調査(二次的汚染調査)の概要

原子炉容器外の放射能調査（二次的汚染調査）は、放射線管理が必要な管理区域内での作業となる。



線量測定イメージ

系統概要図（代表例）

（目的）

廃止措置における、作業員の被ばく低減や解体廃棄物の合理的な処理方法等を定めるためには、施設内の放射能汚染分布の把握が必要であり、原子炉容器外の所定の系統毎に機器・配管の表面線量率を測定し、二次的な汚染状況を調査する。

【測定対象系統（系統概要図の 部）】

原子炉冷却系統、化学体積制御系統、余熱除去系統、安全注入系統、ほう酸回収系統
廃棄物処理系統、燃料ピットおよび燃料取替用水関連系統、格納容器スプレイ系統
換気空調系統、ドレン系統、機器冷却水系統、補給水系統、その他附属設備系統
アスファルト固化装置系統、雑固体焼却設備系統、洗濯排水処理設備系統

（工事予定時期）

2022年度（予定）

（原子炉容器外の放射能調査(二次的汚染調査)作業の作業項目）

	項目	作業内容（1・2号機それぞれ）	技術的ニーズ
B1	表面線量率測定	- 測定計画の策定に当たって、現場調査等により、対象機器、配管に対する放射線測定計画（具体的な測定位置、測定手順、記録様式等を決定）や作業工程等の策定を補助する。 - 放射線測定において、機器・配管の表面線量率の測定に伴う作業および、測定結果、測定場所（系統図、平面図、画像データ含む）等の記録作成および整理を行う。	①～③

＜技術的ニーズ＞

- ① 現場の管理区域内の機器、配管等の配置を把握していること。
- ② 各系統の測定場所のリストにより、調査目的を考慮した具体的な測定ポイントの検討ができる知識を有すること。
- ③ 放射線測定器の特性を理解しており、放射線管理専任者または同等の力量を有すること。放射線環境下でのチェーンブロック、アイボルト等を使用したコンクリートプラグの開閉作業が滞りなく出来ること。

申込締切 令和4年1月19日(水)

大飯発電所1・2号機の廃止措置工事に係る元請会社との情報交換会 参加申込書(令和4年度上期開始予定分)

廃止措置工事の元請会社(廃止措置工事を関西電力様から請負う会社)との情報交換会に、下記のとおり参加を申し込みます。

本申込書に記載された個人情報および企業情報は、情報交換会開催に係る目的の範囲内で利用(元請会社への情報開示を含む)

されることを理解したうえで同意いたします。

1. 参加確認			
どちらか1つ	チェック	参加希望	以後、記入が必要な項目
○を記載して ください		全体説明会のみ参加を希望	2, 3
		全体説明会と個別面談会の両方に参加を希望	2, 3, 4, 5, 6

2. 参加企業情報 (全体説明会・個別面談会 共通)				
企業名 (必須)	ふりがな			
所在地 (必須)	ふりがな			
	〒			
連絡窓口 (必須)	ふりがな		所属	
	本店・支店名		役職	
	ふりがな		TEL	
	氏名		FAX (任意)	
			E-MAIL	
ホームページ				
業種				

3. 参加者情報 (全体説明会・個別面談会 共通)				
参加者①	ふりがな		所属	
	本店・支店名		役職	
	ふりがな		TEL	
	氏名		FAX	
			E-MAIL	
参加者②	ふりがな		所属	
	本店・支店名		役職	
	ふりがな		TEL	
	氏名		FAX	
			E-MAIL	

※1 1社あたりの参加者は2名までとします。

※2 本申込書は、電子ファイル(Excelファイル)のまま、事務局に提出してください。本申込書の電子ファイル(Excelファイル)は、エネ研ホームページ(<http://www.werc.or.jp/>)の「News & Event (お知らせ・イベント)」からダウンロードしてください。

※3 全体説明会のみ参加を希望する場合は、「2. 参加企業情報」、「3. 参加者情報」まで記載して提出してください。

※4 元請会社との個別面談を申し込む場合は、「4. 参加企業情報」、「5. 個別面談会を希望する対象工事」、「6. 『元請会社が求める技術的ニーズ』に対応する自社が持つ技術の概要」も合わせて記入し、添付ファイルを添えて提出してください。

(個別面談会参加希望の企業のみ記載してください)

4. 参加企業情報 (個別面談会希望企業)			
企業名		従業員数	
		資本金	
添付ファイルの有無 ※2		企業案内の添付 (会社案内パンフレットや自社ホームページのコピー等を電子ファイルにて添付し、○印を付けてください)	
会社概要	(業務概要)		
	(主な取扱製品 (事業))		
	(事業所拠点数) <主な拠点>		

※1 元請会社による全体説明会に出席していない方は、元請会社との個別面談会に出席できません。本書を提出の際は「2. 参加企業情報」「3. 参加者情報」も記入し、提出してください。

※2 本申込書(Excelファイル)と添付書類(PDFファイル等汎用ソフトで開けるもの)を、電子ファイルで事務局に提出してください。
(添付ファイルのファイル名は、何の添付ファイルか容易に判断できる名称にしてください)

※3 情報交換会当日の全体説明会および個別面談会の時間については、希望企業数を勘案して後日事務局にて調整のうえ決定します。

5. 個別面談会を希望する対象工事 (個別面談会希望企業) 「原子炉容器外の放射能調査(放射化汚染調査)」

	チェック	工事 番号	工事項目	求められる技術的ニーズ
求められるニーズを確認のうえ、個別面談を希望する対象工事について、該当するチェック欄に○を記載し、次の項目 「6.『元請会社が求める技術的ニーズ』に対応する自社が持つ技術の概要」に記載してください。				
	(1)	A1	コンクリート試料採取	(1) 炉内計測装置配管室、一次遮へい壁、ループ室の試料採取 下記①～⑤、⑦、⑧ (2) オペレーションフロア以下一般通路、アイスコンデンサ室、オペレーションフロア、キャビティの試料採取 下記③～⑤、⑦、⑧ ① 高放射線環境下でのチェーンブロック、アイボルト等を使用したコンクリートプラグの開閉作業が滞りなく出来る技能を有していること。 ② コンクリートプラグ等に必要となるシール、パッキン類の手配が出来ること。 ③ 被ばく管理に伴う鉛遮へい等（必要時及び作業に適したグリーンハウス、汚染飛散防止エリア）の設定が出来る技能を有していること。（クレーン運転士、玉掛け、足場の組立て等作業主任者） ④ 放射線に関する基礎的な知識を有し放射線測定器を使用出来る技能を有していること。 ⑤ 鉄筋探査機及び湿式コアボーリング機を使用出来る技能を有していること。 ⑦ 作業に適した足場の架設解体が出来る技能を有していること。（足場の組立て等作業主任者） ⑧ 建設業法（機械器具設置工事業）を取得しており、建設業主任技術者を配置出来ること。
	(2)			
	(1)	A2	金属試料採取	(1) 炉内計測装置配管室、一次遮へい壁、ループ室の試料採取 下記①～④、⑥～⑧ (2) オペレーションフロア以下一般通路、アイスコンデンサ室、オペレーションフロア、キャビティの試料採取 下記②～④、⑥～⑧ ① 高放射線環境下でのチェーンブロック、アイボルト等を使用したコンクリートプラグの開閉作業が滞りなく出来る技能を有していること。 ② コンクリートプラグ等に必要となるシール、パッキン類の手配が出来ること。 ③ 被ばく管理に伴う鉛遮へい等（必要時及び作業に適したグリーンハウス、汚染飛散防止エリア）の設定が出来る技能を有していること。（クレーン運転士、玉掛け、足場の組立て等作業主任者） ④ 放射線に関する基礎的な知識を有し放射線測定器を使用出来る技能を有していること。 ⑥ 回転工具（電気グラインダー等）を使用出来る技能を有していること。 ⑦ 作業に適した足場の架設解体が出来る技能を有していること。（足場の組立て等作業主任者） ⑧ 建設業法（機械器具設置工事業）を取得しており、建設業主任技術者を配置出来ること。
	(2)			
		A3	試料梱包	⑨ 試料の梱包作業に必要な技術系資格（小型移動式クレーン運転、玉掛け）を有していること。
			試料輸送	⑩ 試料の輸送作業に伴う放射性物質（R I）等の輸送に係る規制に関する知識を有していること。
	共通			必要な作業人員を確保できること。 不測の事態発生にも早急な対応が可能であること。 作業に必要な建設業許可、法令知識があること。 原子力施設における個人の信頼性確認の審査により認定を受けること。 異物管理の運用方法を明確にし、異物混入によるトラブル防止を図ること。

大飯発電所1・2号機 「原子炉容器外の放射能調査(放射化汚染調査)」

(個別面談会参加希望の企業のみ記載してください)

5. 個別面談会を希望する対象工事 (個別面談会希望企業) 「原子炉容器外の放射能調査(二次的汚染調査)」

求められるニーズを確認のうえ、個別面談を希望する対象工事について、該当するチェック欄に○を記載し、次の項目「6.『元請会社が求める技術的ニーズ』」に対応する自社が持つ技術の概要」に記載してください。	大飯発電所1・2号機「原子炉容器外の放射能調査（二次的汚染調査）」	チェック	工事番号	工事項目	求められる技術的ニーズ
			B1	表面線量率測定	① 現場の管理区域内の機器、配管等の配置を把握していること。 ② 各系統の測定場所のリストにより、調査目的を考慮した具体的な測定ポイントの検討ができる知識を有すること。 ③ 放射線測定器の特性を理解しており、放射線管理専任者または同等の力量を有すること。放射線環境下でのチェンブロック、アイボルト等を使用したコンクリートプラグの開閉作業が滞りなく出来ること。
		共通			必要な作業人員を確保できること。 不測の事態発生にも早急な対応が可能であること。 作業に必要な建設業許可、法令知識があること。 原子力施設における個人の信頼性確認の審査により認定を受けること。 異物管理の運用方法を明確にし、異物混入によるトラブル防止を図ること。

(個別面談会参加希望の企業のみ記載してください)

6. 「元請会社が求める技術的ニーズ」に対応する自社が持つ技術の概要(個別面談会希望企業)

前記の「5. 個別面談会を希望する対象工事」でチェック欄に○をした工事について、元請会社が求める技術ニーズ等に対応する自社の実績、アピールポイント等を以下に記載してください。(複数の工事に○をした場合は、それら全ての工事に対して、自社の実績、アピールポイント等を記載してください。)

(提供できる技術(作業・製品)の内容)

(上記または類似する技術の適用実績)

(所有する関連技術・資格類)

(当該業務の従事者数(うち原子力管理区域内作業経験者数))

(その他 アピールポイント等)

詳細な内容については資料を添付してください。

添付ファイル(元請会社が求める技術ニーズ等に対応する説明資料)の有無 ※2

上記の記載内容を補足する説明資料の添付

(説明資料、パンフレット等を電子ファイルにて添付し、○印を付けてください)

※1 記載内容について、事務局から事前に確認させていただく場合がありますので、その場合はご協力をお願いします。

※2 本書(Excelファイル)と添付書類(PDFファイル等汎用ソフトで開けるもの)を、電子ファイルで事務局に提出してください。
(添付ファイルのファイル名は、何の添付ファイルか容易に判断できる名称にしてください)